



TS エージェントによるユーザの制御

次のトピックでは、TS エージェントによりユーザ認識とユーザ制御を実行する方法について説明します。

- [ターミナルサービス \(TS\) エージェントのアイデンティティ ソース \(1 ページ\)](#)
- [TS エージェントのガイドライン \(1 ページ\)](#)
- [TS エージェントのユーザ制御の構成 \(2 ページ\)](#)
- [TS エージェント アイデンティティ ソースのトラブルシューティング \(2 ページ\)](#)
- [TS エージェントの履歴 \(3 ページ\)](#)

ターミナルサービス (TS) エージェントのアイデンティティ ソース

TS エージェントはパッシブ認証方式で、Firepower システムでサポートされる権限のあるアイデンティティ ソースの 1 つです。Windows Terminal Server が認証を実行し、TS エージェントがスタンドアロンまたはハイアベイラビリティの Firepower Management Center にその認証の実行を報告します。

TS エージェントは、Windows Terminal Server にインストールされると、個々のユーザがモニタ対象ネットワークにログインまたはログアウトする際にそのユーザに固有のポート範囲を割り当てます。Firepower Management Center では、この固有のポートを使用して Firepower システムの個々のユーザを識別します。1 つの TS エージェントを使用して、1 つの Windows Terminal Server 上のユーザ アクティビティをモニタし、暗号化データを Firepower Management Center に送信できます。

TS エージェントは失敗したログイン試行を報告しません。TS エージェントから取得されたデータは、ユーザ認識とユーザ制御に使用できます。

TS エージェントのガイドライン

TS エージェントには段階的な設定が必要で、次のものがあります。

1. TS エージェントがインストールおよび設定された Windows Terminal Server。
2. サーバがモニタするユーザを対象とする 1 つ以上のアイデンティティ レルム。

TS エージェントは、Microsoft Windows Terminal Server にインストールします。段階的な TS エージェントのインストールと設定、およびサーバと Firepower システムの要件の詳細については、『Cisco Terminal Services (TS) Agent Guide』を参照してください。

TS エージェントのデータは [ユーザ (Users)] テーブル、[ユーザ アクティビティ (User Activity)] テーブル、および [接続イベント (Connection Event)] テーブルに表示され、ユーザ認識とユーザ制御に使用できます。



- (注) TS エージェントが別のパッシブ認証のアイデンティティ ソース (ユーザエージェントまたは ISE/ISE-PIC) と同じユーザをモニタする場合、Firepower Management Center では TS エージェントのデータを優先します。TS エージェントと別のパッシブのアイデンティティ ソースが同じ IP アドレスでアクティビティを報告した場合、TS エージェントのデータだけが Firepower Management Center に記録されます。

TS エージェントのユーザ制御の構成

TS エージェントをユーザ認識およびユーザ制御のアイデンティティ ソースとして使用するには、『Cisco Terminal Services (TS) Agent Guide』の説明に従って TS エージェント ソフトウェアをインストールして構成してください。

次に行う作業：

- [アイデンティティ ポリシーの作成](#)の説明に従い、アイデンティティ ポリシーを使用して、制御するユーザおよびその他のオプションを指定します。
- [アクセス制御への他のポリシーの関連付け](#)の説明に従って、アイデンティティ ルールをアクセス コントロール ポリシーに関連付けます。このポリシーは、トラフィックをフィルタし、オプションで検査します。
- [設定変更の展開](#)の説明に従って、使用するアイデンティティ ポリシーとアクセス コントロール ポリシーを管理対象デバイスに展開します。
- [ワークフローの使用](#)の説明に従って、ユーザ アクティビティをモニタします。

TS エージェント アイデンティティ ソースのトラブルシューティング

関連の他のトラブルシューティングについては、[レルムとユーザのダウンロードのトラブルシューティング](#)および[ユーザ制御のトラブルシューティング](#)を参照してください。

TS エージェントと Firepower システムの統合に問題が起こった場合は、次のことを確認してください。

- TS エージェントサーバと Firepower Management Center の時計を同期させる必要があります。
- TS エージェントが別のパッシブ認証 ID ソース（ユーザ エージェントまたは ISE）と同じユーザをモニタしている場合、Firepower Management Center は TS エージェントのデータを優先します。TS エージェントとパッシブ ID ソースが同じ IP アドレスによるアクティビティを報告した場合は、TS エージェントのデータのみが Firepower Management Center に記録されます。
- アクティブ FTP セッションは、イベントの **Unknown** ユーザとして表示されます。これは正常な処理です。アクティブ FTP では、（クライアントではない）サーバが接続を開始し、FTP サーバには関連付けられているユーザ名がないはずだからです。アクティブ FTP の詳細については、[RFC 959](#) を参照してください。

トラブルシューティングのすべての情報は、『*Cisco Terminal Services (TS) Agent Configuration Guide*』を参照してください。

TS エージェントの履歴

機能	バージョン (Version)	詳細
ユーザ制御用の TS エージェント。	6.2.0	<p>導入された機能。FirePOWER が、Citrix の仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) などの共有環境で個々のユーザをより正確に識別して、ファイアウォールにユーザベースのポリシールールを正確に適用できるようになりました。ユーザは使用されるポートによって識別されます。</p> <p>TS エージェント ソフトウェアは、Firepower Management Center とは独立して更新されます。詳細については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • cisco.com で利用可能な『<i>Cisco Terminal Services (TS) Agent Guide</i>』 • 『<i>Cisco Firepower Compatibility Guide</i>』

